



<卒業生の入場>



学校教育目標

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒

《祝卒業式、おめでとうございます》

3月9日(土)に第77回卒業式を挙行了しました。今年度は、感染症の収束が見られ5年ぶりに卒業生と1、2年生と保護者が同じ会場で卒業式を挙行できたことをたいへん嬉しく思います。また、来賓として、教育員の永山伸一様、佐間田香様、下野市議会議員の皆様、PTA会長の大塚剛志様、学校運営協議会委員の皆さまにご来賓としてご臨席いただきました。ありがとうございました。

卒業生の入場では、在校生が各クラスの合唱曲のピアノ演奏をしました。卒業証書授与では、担任に呼名され一人ひとりがしっかりと返事をして、力強く卒業証書を受け取りました。すでに涙ぐんでいる生徒も多く、生徒達が3年間頑張ってきた熱い思いが伝わりました。その後、学校長式辞、ご来賓の教育委員の永山伸一様からの教育委員会告示があり、市からの卒業記念品を代表の遠藤志峰さんが受け取りました。式は、とても厳かで生徒達の態度や返事から決意や感謝の気持ちが感じられました。

在校生による「送ることば」は、代表の吉田優さんが伝えました。卒業生への感謝や励ましの言葉とともに卒業生を想いながら在校生全員で「群青」を合唱しました。卒業生は、下級生を真剣な眼差しで見ながら歌声と想いを受け止めていました。続いて、卒業生による「感謝のことば」は、代表の齋藤京子さんが伝えました。3年生の呼びかけには、国分寺中学校での学校行事や部活動そして毎日の学校生活について、熱い想いが込められていました。また、お世話になった先生方への感謝の気持ちや後輩たちへメッセージが伝えられました。「感謝のことば」の中で歌った卒業生による「3月9日」や「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」の合唱は、気持ちのこもった素晴らしいハーモニーで、会場にいる人全員の心に響き、卒業式が感動的なものとなりました。

最後に、送門を行いました。教職員と1、2年生全員で卒業生と保護者を温かい拍手で送り出しました。天気にも恵まれ、清々しい送門となりました。これからも教職員と生徒、全員で卒業生を見守り続けます。新しい世界を力強く羽ばたいてください。ご活躍を祈念しています。



<卒業証書授与>



<教育委員会告示>



<記念品授与>



<送ることば>



<感謝のことば>



<3年生の合唱>



<卒業生の退場>



<送門>

『学校長式辞』の抜粋

…最後に人間の能力は、努力し続ける事によって無限に広がると言われていています。どんな時も自分自身のもつ無限の可能性を信じ、勇気を持って挑戦するという姿勢を大切にしてください。昨年、野球の大谷翔平選手がメジャーリーグでホームラン王になったり、将棋の藤井聡太さんが21歳という若さで八冠を制覇したりしました。今まで多くの方が難しいと思っていたことを努力を続け、実現することができました。皆さんも常に自分なりの夢や目標をもち、そこに向かって努力を重ねていき、一層、飛躍することを願っています。国分寺中学校の先生方全員で皆さんを応援し、見守り続けたいと思います。…

それでは、卒業生155名の前途に、必ずや幸多からんことを願い、式辞といたします。

『送ることば』の抜粋 【吉田 優さん】

…今、皆様の心には、この国分寺中学校で過ごしたかけがえのない日々が次々と浮かんでいるのではないのでしょうか。コロナウイルス感染症の影響で様々な制限がある中でも、いつも明るく、前向きに行動す

るその背中を追って、私たちも部活動や学校行事に一生懸命取り組む事ができました。また、いろいろな場面で常に私たちの良いお手本となり、やるべき事、進むべき道を示してくださいました。今まぶたを閉じると皆さまと過ごした日々が鮮やかに蘇ります。

…皆様は、今日、この学び舎を巣立ち、明日から新しい道に進まれます。しかし、その道はそれぞれ違ってこの国分寺中学校で得た仲間との絆は強く、どんな時も心の支えになってくれるはずです。その新しい道がいつも明るい光に照らされますよう、そしてその道を力強く歩んで行かれますよう、心よりお祈りし、はなむけの言葉といたします。

最後に、今までの感謝の思いを込めて歌います。「群青」 指揮、行政葵さん、伴奏、柿沼希々果さん

『感謝のことば』の抜粋【齋藤 京子さん】

…3年前、お互いの顔も見えないまま入学したあの日、私たちの中学校生活は始まりました。マスク1枚の隔たりは大きく、友達の笑顔を見ることができない、そんな日が続きました。孤独を感じたこともありましたが「当たり前を当たり前」そう過ごしていくうちに大切な仲間ができ、毎日無我夢中で駆け抜けました。制限がありながらも私たちの絆の輪を広げていくことができました。…

…一つ一つの活動に「最後」という言葉が付き、何気ない日常を大切に過ごした3年生。学年が上がるにつれ、少しずつ規制が緩和され、次第にできることも増えてきました。そんな中、気付いたのは、これまで当たり前のように思っていたことが決して当たり前ではなく、誰かの支えがあったということです。…

…最後に、15年間育て一番そばで支えてくれた家族、たくさんの迷惑をかけました。でもどうしようもない苛立ちや心の痛みにそっと手を添えてくれました。そして、何よりこの大切な命を授け、今まで大事に育ててくれて本当にありがとうございました。さらに輝くために歩み出す私たちをこれからも見守ってください。たくさんの「感謝」と「感動」を味わうことができた3年間、この卒業を機に私たちの中学校生活を振り返ってみたいと思います。……呼び掛けと合唱……

《全校集会、3年生の想いを受けて！》

3月12日(火)第6校時に体育館で全校集会と学年集会を行いました。最初に3学年主任の追田靖之先生から1、2年生に対して、卒業式の会場準備・片付け等と感動的だった「送ることば」への感謝と1、2年後の自分達の卒業式に向けて今後の期待が伝えられました。次に生徒指導主事の横山真樹先生が「今日から国分寺中の新たな1日、全校生徒で毎日の時間を大切にしっかりと取り組んでいき、信頼される学校になってほしい。」と一人ひとりが気持ちを新たに生活していくことについて話をしました。

最後に、各学年に分かれ、具体的に取り組んでいくことを確認しました。2年生では、「3年生に向けて自覚が現れてきている。1日1日できる事を振り返り見直していこう」という話がありました。1年生では、「成果だけでなく、毎日こつこつとやる姿勢を後輩に見せてほしい」という話がありました。全ての生徒が自分の事として、真剣に話を聴いていました。今日から1、2年生ともに3年生や先生方の想いを受けて成長していくことを期待しています。保護者の皆様も引き続き、温かく成長を見守り、支援していただければと思います。



<黒板アート>

<お祝いの掲示物>

《ドイツからの訪問、国際社会に貢献する豊かな人間性を育もう！》

3月21日(木)下野市の姉妹都市であるドイツのディーツヘルツタルから中学生17名と引率者4名と市役所の職員数名が来校しました。この日は、ボランティアさんが講師となり本校の2年生と和太鼓、書道、そろばん、空手、琴、三味線、折り紙、昔遊び、部活動体験(剣道、柔道)などで交流しました。また、教室で一緒に給食を食べたり、清掃したりしました。短い時間でしたが、互いに打ち解け、楽しそうに交流しました。

<和太鼓体験>



《修了式、目標を立てて進級の準備を！》

3月22日(金)に修了式を行いました。1年生138名(代表:青木海誠さん)、2年生151名(代表:関友里葉さん)に修了証を授与しました。また、下野市からの進級記念品(学用品)を1年生代表の早川奏良さんと2年生代表の山崎鍊真さんに渡しました。生徒代表作文は、1年生の中澤明莉さんと2年生の村上とわさんが1年間を振り返った反省や新学期に向けての決意を発表しました。学校長式辞では、「当たり前を当たり前、一日一日を大切にしよう」、「切磋琢磨、励まし合い目標に向けて成長しよう」の2点についてお願いしました。最後に2年生の新山菜心さんの伴奏で校歌を力強く斉唱しました。

春休みには、自分自身の事を見つめ直し、心を整理し、しっかりとエネルギーを蓄えて新学年・新学期に備えてもらえればと思います。ご家庭でも進級に向けた準備やご支援をよろしくお願いいたします。

※休業中の緊急時の連絡等について

「生徒が事件や事故に遭った場合」等、学校職員の勤務時間外(休日を含む)に緊急に連絡をすることがあり、学校(Tel.44-0050)に電話したが、つながらなかった場合には、下野市教育委員会学校教育課(Tel.32-8918)に電話をしてください。その際は、学校教育課職員若しくは警備会社を経由して、本校校長・教頭へ連絡がいくようになっています。また、休業中もLEBERによる健康観察等をお願いいたします。

学校だより「いしずえ」を学校のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。ホームページには各種情報も随時アップしておりますので、ご覧ください。

URL http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j_school/kokutyu/index.html

